



4月25日(月)、本年度第1回目の学校運営協議会が本校で開かれました。3名の運営協議会委員【岩田博氏、中瀬修氏、ガードナー真理氏】と地域学校協働活動推進員【古屋真一氏】に加え、学校側からは校長、教頭、教務主任が出席し、川南小学校のコミュニティ・スクールの在り方について話し合いをしました。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは・・・学校と地域がパートナーとして連携・協働するために、学校は「地域に開かれた学校」から一歩踏み出し、地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民・保護者と共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」へと転換していく必要があります。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」に転換するための仕組みです。この制度を導入することにより、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めていくことができます。

言い換えれば、**コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」を設置している学校のことです。**

本町では、3年前から本制度をスタートさせています。



一昨日の話し合いでは、「人とつながる地域活動」について意見交換を行いました。「もち米作り」を生かした「川小鍋に代わる取組」、野菜作りを通しての高齢者と学校との連携、地域住民と進める防災活動等、様々なアイデアが出されました。子どもを起点として、地域の中で人とつながる取組を今後実現していければと思います。また保護者の皆様からも、「地域にはこんなステキな方がいらっしやいますよ。」「こんな体験を子供たちにやらせたい。」といったアイデアを寄せられるとうれしいです。

今後、定期的にコミュニティ・スクール通信を発行していきます。お楽しみに！

